



やまざとの風

～心を込めた「あいさつ」「校歌」 輝く「笑顔」～

山里中学校だより

2023. 12. 25

文責 小西



令和5年度2学期終業式です。

12/22(金)、2学期の終業式の中での、本田勇人校長先生は次のような言葉を述べられました。

令和5年度 2学期終業式 式辞

第2学期の終業式は、体育館で全校生徒の皆さんが顔を合わせて開催する予定でしたが、今週に入り、急に冷え込みも厳しくなり、雪もちらつくこととなったことから、リモートでの実施ということとなりました。皆さんと直接顔を合わせて、お話しできないことは大変残念なことではありますが、どうかご理解ください。

2023年も、まもなく終わろうとしています。皆さんにとって、今年、2023年はどんな年だったでしょうか。

さて、私は、2学期のスタートにあたり、「より高みを目指して、皆さんの思いを形にして表現すること」、そのような活動を、1学期に引き続き、ぜひ続けていってほしい、そのために、「より良きもの、より質の高いものを求めていこうとすること」そして、「お互いに心を通わせ合う」ということを大切にしていってほしいとお話をさせていただきました。

「より高みを目指して、皆さんの思いを形にして表現する」ということ。まさに、合唱コンクールでは、高みを目指して練習を重ね、感動的な歌声を響かせてくれました。すべての学年・学級が見事に質の高い合唱として、皆さんの思いを形にして表現してくれた合唱コンクールでした。

「お互いに心を通わせ合う」ということ。これは、今年初めて、「生徒集会」でアドジャンという活動をしてくれました。学年を越えて、お互いの心を通い合わせるためには、とても、良い活動だと思いました。

また、2学期末のあいさつ運動。「2学期最後を、良いあいさつで、学校の雰囲気をよくするために、みんなで力を合わせて頑張りたい」という生徒会役員の皆さんが中心となって、取り組んでくれました。特に今週は、寒い日も多かったのですが、サンタクロースの格好をして盛り上げようとしてくれている姿は、とても素晴らしいかと思います。「あいさつを交わし合うこと」は、まさに「お互いの心を通わせ合うということ」です。2学期の良い締めくくりとなったと思います。ありがとうございました。

「より良きもの、より高いものを求めていこうとすること」これは、より良き中学生として、より質の高い中学生として、地域の中で役割や責任を果たしてくれました。本校の運動場で開催された「たかお祭り」では、多くの生徒の皆さんが、テントを立て、天幕を張ったり、出演者として、あるいは、出店を手伝って祭りを盛り上げたり、ポスターを作成してくれたり、12月には、学校の玄関に飾る「門松づくり」にも、竹の運搬から完成に至るまで、多くの生徒の皆さんが参加してくれました。

また、小学生や高校生とともに、校区内の被爆遺構などを中心に清掃活動を展開して、小学生や高校生とともに、地域を知り、平和への思いを確かなものとする「山里地区合同平和清掃」にも3年生が、中心的な役割を果たしてくれました。

このような活動や姿勢は、これまで、お世話になった地域に対し、中学生として、より良き中学生、より質の高い中学生として地域へ恩返しをしていこうとする姿でもあり、とても素晴らしいと思います。

このように、2学期を振り返ってみても、多くの「より良きもの、より質の高いものを求めていこうとする姿」「お互いが心を通い合わせ合って思いを形にしていこうとする姿」がみられ、また、2学期も、「山里中学校が確実に前に、力強く前に前進した」ものと思います。

今後も、全校生徒の皆さんで、山里中学校を前に、力強く前に前進させていきましょう。

さて、明日から、冬休みに入ります。冬休みは、一年の振り返りを行うとともに、新たな年を迎えるという意味で、とても大切な期間となります。そんな皆さんに、2つお願いをしたいと思います。

一つ目は、いつも言っていることですが、「自分の命を大切にしてほしい」ということです。年末年始は、慌ただしく、交通量も増えることもあり、交通事故の悲しいニュースが増える期間でもあります。また、今年はインフルエンザも流行しています。冬休みに入っても、事件や事故に決して遭わないようにして、そして、インフルエンザ等の感染予防についての意識を高くもって、しっかり過ごしてほしいと思います。

また、いつも言っているとおり、一人で過ごす時間が長くなると、急に悲しくなったり、心が苦しくなったりすることがあります。そんな時には、身近な家族や友人に気持ちをうち開けて、心を軽くしてほしいと思います。

いつも言っているとおり、「そのように心が苦しくなることは、誰にでもあることですし、長くは続きません。」

どうか、一人で抱え込まないで、心を軽くしてほしいと思います。

二つ目は、「新しい年、2024年の目標を一つ決めてほしい」ということです。新しい年を迎えるということは、気持ちも新たにできるということです。2024年にやり遂げたいこと、頑張りたいことを一つ、なにか具体的な目標を、ぜひ決めてほしいと思います。

みなさんと、次回、お会いするのは、1月の9日、少し遅い始業式となりますが、全校生徒の皆さんと、元気に、そして、新たな気持ちで、お会いすることを楽しみにしています。

では、みなさん、よいお年をお迎えください。



令和5年12月22日 長崎市立山里中学校長 本田勇人

終業式での学年代表あいさつ

1 年生代表: 中川由奈さん(1-3)

一番印象に残っているのは、①合唱コンクール(目指していた金賞を取ることができた。2 学期の中で一番嬉しく、努力して良かったと思った瞬間だった。)、②学校生活(仲間のさりげないサポートに感謝。)、③あいさつ運動(あいさつは人と人のコミュニケーションのはじめの一步だと感じた。)です。あと数か月で2年生になり、後輩ができます。来年の1年生の良いお手本になれるよう、あいさつや時間を守ること、人への思いやりなど、当り前のレベルを上げて、いろんなことに挑戦していきたいです。



2 年生代表: 永野絃さん、河原愛華さん(2-3)

「やったー、明日から冬休みだー!」と思っている皆さん、私たちの話を聞いてください。3 学期からは学校のリーダーとして動いていくことになります。その覚悟はできていますか? リーダーだけが頑張るのではなく、それ以上に周りの人が行動し、リーダーが活動しやすい環境をつくっていきましょう。一人ひとり、長所や短所が違いうように、各学年のカラーも違います。この学年の明るさや元気の良さを生かして、私たちらしく、やるべきことをしっかりやって190人全員で声をかけ合いながらリーダーとして頑張っていきたいです。



3 年生代表: 上原愛梨さん(3-4)

今学期はこれまで以上に充実した学期でした。「合唱コンクール」、目指したものは最高学年にふさわしい「圧巻の歌声」でした。歌い終えたあとの達成感、練習を積み重ねた経験など、良い思い出として残る、大成功の合唱コンクールでした。京都御池中学校との交流会では、人とのつながりを学びました。希望する進路が決定したことで、授業に向かう姿勢も変わりました。最後まで互いを応援し、サポートし合える雰囲気をつくってきたいです。先輩方から渡された伝統というバトンを、後輩たちに引き継ぐため、形に残せる3 学期にしたいです。



終業式の後半、3-6 西崎子桃さんが英語スピーチを披露してくれました。2月の県大会では長崎市代表として発表をします。西崎さん、頑張ってください!



12/22(金)、朝のあいさつ運動の様子です。たくさんの人たちがあいさつ運動を盛り上げてくれました!!



門松で正月を迎えます!

12/9(土)の朝から、新生徒会役員及び有志の生徒たちが高尾小学校で餅つきを体験し、門松の作り方を地域の方や業者の方から学びました。そのあと、山里中学校に場所を移し、生徒玄関の左右に一对の門松を飾り終えました。12/3(日)にはこの門松づくりのために竹切り・竹出しに頑張ってくれた生徒たちもいて、たくさんの人たちの尽力により、立派な門松が生徒玄関を飾っています。地域の育成協の皆さま、業者の方々にも感謝です。本当にありがとうございました!



門松づくりは正月の伝統的行事であり、門松に向かって神が降臨してくるともいわれます。2024年も皆さまにとって良い年でありますように。それではみなさん、良い年をお迎えください。